

milsil

ISSN 1882-5745 2021年5月発行 隔月6回発行 第14巻 第3号(通巻81号)

自然と科学の情報誌
[ミルシル]



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

No. 3
2021
Vol. 14

特集

小笠原諸島の自然

～「世界自然遺産」登録から10年～

Focus 光合成をやめ、菌類に寄生する植物の謎を解く

標本の世界 引き継がれる魚類標本

科学冒険隊 平らな紙からたまご形を作ろう!

鉱物の世界を楽しむ 鉱物学の夜明け

「milsil(ミルシル)」について
「milsil(ミルシル)」の「mil(ミル)」は「見てみる」「聞いてみる」「やってみる」の「ミル」。そのような「ミル」から、新たな、そして豊かな「sil(シル=知る)」が得られるでしょう。この雑誌とともに、皆様楽しい「ミルシル」体験をされることを願っています。

C O N T E N T S

- 3 **【特集】小笠原諸島の自然**
～「世界自然遺産」登録から10年～
[全体監修] 佐野 貴司 (国立科学博物館地学研究部鉱物科学研究グループ長)
- 4 **大陸から隔絶された島々の特異な自然環境と生態系**
- 6 **“陸続き”になったことがない小笠原諸島の地質**
石塚 治 (産業技術総合研究所活断層・火山研究部門上級主任研究員/
海洋研究開発機構海域地震火山部門招聘主任研究員)
- 9 **非調和な森が織りなす小笠原諸島固有植物の進化**
高山 浩司 (京都大学大学院理学研究科生物科学専攻准教授)
- 12 **小笠原諸島のカタツムリ 楽園とその危機**
千葉 聡 (東北大学東北アジア研究センター地域生態系研究分野教授)
- 15 **アホウドリの新繁殖地形成に向けた取り組み**
油田 照秋 (山階鳥類研究所保全研究室研究員)
- 18 **FOCUS 科学者の探究心にせまる
光合成をやめ、菌類に寄生する植物の謎を解く
菌類や昆虫をだまして生きる!?**
末次 健司 (神戸大学大学院理学研究科生物学専攻生物多様性講座准教授)
- 22 **標本の世界
引き継がれる魚類標本**
中江 雅典 (国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ研究主幹)
- 24 **親子で遊ぼう! 科学冒険隊
#80 平らな紙からたまご形を作ろう!**
三谷 純 (筑波大学大学院システム情報系情報工学域教授) 監修
- 28 **鉱物の世界を楽しむ①
鉱物学の夜明け**
宮脇 律郎 (国立科学博物館地学研究部長/日本鉱物科学会会長/
国際鉱物学連合新鉱物・命名・分類委員会委員長)
- 33 **NEWS & TOPICS**
世界の科学ニュース & おもしろニュース
- 34 **次号予告/定期購読のお知らせ/編集後記**



小笠原諸島の無人島・鷲島で確認されたアホウドリの親子。鷲島では、2008年から始まったアホウドリの新繁殖地形成の取り組みが成果を上げています。
画像提供：油田照秋



表紙写真

写真は、小笠原諸島・父島の南西沖にある南島から望む父島・ジニービーチ。世界自然遺産区域に含まれる南島には、石灰岩が侵食されてできたカルスト地形が広がり、すでに絶滅したヒロベソカタマイマイの半化石などが見つかっています。外来種グリーンアノール(トカゲのなかま)が侵入していないため、父島で絶滅が心配されている昆虫の避難場所としても貴重な場所となっています。対岸の父島・ジニービーチは白い砂浜が広がる景勝地。
画像提供：小笠原村観光局

特集

小笠原諸島の自然

～「世界自然遺産」登録から10年～

[全体監修] 佐野 貴司 (国立科学博物館地学研究部鉱物科学研究グループ長)

おがさわら 小笠原諸島(東京都)に生息する在来の陸生哺乳類はどれでしょう?
ほにゅう
①オガサワラオオコウモリ ②クマネズミ ③ノブタ ④ノヤギ



A: ①オガサワラオオコウモリ。

小笠原諸島に生息する在来の陸生哺乳類は、オガサワラオオコウモリただ1種です。小笠原の生物相は、哺乳類1種、爬虫類2種、両生類は皆無というように、海洋島に特徴的な偏りのある不調和な生物集団で構成されています。ノヤギ、ノブタ、クマネズミ、ノネコなど、人間とともに入り込んだ外来の哺乳類は、小笠原の固有の生物相に大きな影響を及ぼし問題になっています。

画像提供：①尾園暁、②環境省、③(一財)自然環境研究センター